



青森県感染症発生情報 (2018年第21週)

I 第21週の発生動向 (2018/5/21~2018/5/27)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 手足口病については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均を上回り、特に弘前保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
3. 流行性角結膜炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と五所川原保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
4. インフルエンザについては、流行シーズン入りの目安である1.00に対し、県全体の定点当たり報告数が2週連続で1.00を下回ったので、県内インフルエンザ情報(2017/2018シーズン)の掲載は、今回をもちまして終了します。(型別等の情報については随時掲載します。)

II 第21週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科	インフルエンザ	5	0.38	1	0.07	1	0.07			6	0.67			13	0.20	-31	
小児科	RSウイルス感染症	2	0.25	1	0.11			1	0.20					4	0.10	-4	
	咽頭結膜熱	1	0.13	7	0.78	3	0.30	3	0.60			1	0.25	15	0.36	6	
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	19	2.38	6	0.67	29	2.90	6	1.20	11	1.83	11	2.75	82	1.95	-12	
	感染性胃腸炎	68	8.50	56	6.22	71	7.10	46	9.20	27	4.50	25	6.25	293	6.98	-5	
	水痘	4	0.50	3	0.33	3	0.30	2	0.40	1	0.17	2	0.50	15	0.36	12	
	手足口病	2	0.25	16	1.78	3	0.30					1	0.25	22	0.52	5	
	伝染性紅斑	1	0.13			1	0.10							2	0.05	0	
	突発性発しん	1	0.13	3	0.33	14	1.40	4	0.80	1	0.17	1	0.25	24	0.57	4	
	ヘルパンギーナ																0
	流行性耳下腺炎	1	0.13			5	0.50			5	0.83	1	0.25	12	0.29	-26	
眼科	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎	1	0.50			5	2.50	2	2.00	1	0.50			9	0.82	3	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)									3	3.00	4	4.00	7	1.17	3	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎											2	2.00	2	0.33	1	
	無菌性髄膜炎															0	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

後天性免疫不全症候群

(五類全数把握対象疾患)

~HIV検査で早期発見・早期治療~

後天性免疫不全症候群(AIDS:エイズ)は、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)に感染することで、身体を病気から守る免疫系が破壊され、適切な治療が施されないと重篤な全身性免疫不全による日和見感染症や悪性腫瘍を引き起こす感染症です。

近年、治療薬の開発が飛躍的に進み、早期に服薬治療を受ければ、通常の生活をおくるのが可能となってきました。エイズ発症後の治療は、発症前と比べて難しくなるため、HIV感染を**早期に発見し、早期に治療**を始めることが大変重要です。

6月1日~7日はHIV検査普及週間です。県内各保健所ではエイズに関する相談・検査を**匿名・無料**で受け付けています。東地方保健所・弘前保健所・三戸地方保健所・五所川原保健所では**夜間即日検査**(受付は概ね17時30分から1~2時間)を実施しています。なお、県内各保健所でエイズ検査を受ける方は、希望すれば性器クラミジア感染症と梅毒の検査を匿名・無料で同時に受けることができます。各保健所では、エイズを含む性感染症のエイズ相談専用電話を設置していますので、お気軽にご相談ください。

6月1日~7日はHIV検査普及週間です。県内各保健所ではエイズに関する相談・検査を匿名・無料で受け付けています。東地方保健所・弘前保健所・三戸地方保健所・五所川原保健所では夜間即日検査(受付は概ね17時30分から1~2時間)を実施しています。なお、県内各保健所でエイズ検査を受ける方は、希望すれば性器クラミジア感染症と梅毒の検査を匿名・無料で同時に受けることができます。各保健所では、エイズを含む性感染症のエイズ相談専用電話を設置していますので、お気軽にご相談ください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [相談・検査\(青森県 STOP AIDS\)](#)

UPDATE!

エイズのイメージを変えよう
治療方法が進歩して
1日1回1錠の薬もある!

飲みやすいサイズになり
副作用も少なくなりました

HIV検査は全国の保健所で、無料・匿名で受けられます。
<http://api-net.jfap.or.jp/> 公益財団法人エイズ予防財団
Japan Foundation for AIDS Prevention

出典: (公財)エイズ予防財団ポスターより抜粋



エイズ 青森県

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前1人、五所川原1人、上十三1人（2018年計：74人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2018年計：4人）
- ・つつが虫病（四類全数把握対象疾患）：青森市1人（2018年計：2人）
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：上十三1人（2018年計：3人）
- ・バンコマイシン耐性腸球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2018年計：3人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前2人（2018年計：18人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

右顔面神経麻痺患者（咽頭ぬぐい液、鼻腔ぬぐい液、5/1）

・・・ヒトライノウイルス A 及びヒトメタニューモウイルス：弘前1人

感染性胃腸炎患者（ふん便、咽頭ぬぐい液、5/9）

・・・アデノウイルス 1 型及びアデノウイルス 37/53 型：青森市1人

手足口病患者（鼻汁、5/11）・・・HHV6B：八戸市1人

無菌性髄膜炎患者（咽頭ぬぐい液、5/11）

・・・ヒトライノウイルス C、ヒトボカウイルス及び HHV6B：青森市1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第14週～2018年第21週）

- ・第21週の患者報告数は13人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは12人【A型：7人、B型：5人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	14	15	16	17	18	19	20	21
東地方+青森市	79	77	78	33	18	19	15	5
弘前	94	126	90	60	47	24	15	1
三戸地方+八戸市	43	30	29	17	14	6	2	1
五所川原	91	130	58	36	22	7	0	0
上十三	54	75	114	73	44	25	11	6
むつ	23	20	24	22	12	2	1	0
合計	384	458	393	241	157	83	44	13

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	14	15	16	17	18	19	20	21
東地方+青森市	46	51	65	26	7	15	14	4
弘前	65	102	81	51	43	21	12	1
三戸地方+八戸市	15	13	12	11	6	5	2	1
五所川原	73	103	42	23	19	6	0	0
上十三	22	31	43	27	26	17	8	1
むつ	21	14	20	18	6	2	1	0
合計	242	314	263	156	107	66	37	7

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	14	15	16	17	18	19	20	21
東地方+青森市	33	25	13	7	11	4	1	0
弘前	29	24	9	9	4	3	3	0
三戸地方+八戸市	28	16	16	6	8	1	0	0
五所川原	18	27	16	13	3	1	0	0
上十三	29	43	68	45	18	8	3	5
むつ	2	5	1	4	5	0	0	0
合計	139	140	123	84	49	17	7	5

年齢区分別(人)

年齢区分	14	15	16	17	18	19	20	21
～5ヶ月	2	0	1	1	1	0	0	0
～11ヶ月	9	4	10	2	1	1	1	0
1歳	17	26	25	9	4	3	0	1
2歳	10	21	14	12	7	7	4	3
3歳	16	41	21	5	7	1	2	0
4歳	20	31	21	9	11	0	0	2
5歳	26	35	18	6	2	2	1	0
6歳	16	14	18	13	4	2	1	0
7歳	11	20	16	9	4	5	1	0
8歳	0	9	13	7	4	0	0	0
9歳	10	6	7	5	3	5	2	1
10～14歳	22	36	35	41	20	5	4	1
15～19歳	13	14	23	11	10	6	4	0
20～29歳	26	19	20	7	5	6	4	0
30～39歳	29	34	23	18	17	11	2	0
40～49歳	34	26	22	24	15	6	2	0
50～59歳	27	28	22	18	17	5	6	2
60～69歳	22	30	34	17	11	5	4	1
70～79歳	31	21	13	8	6	4	1	1
80歳以上	43	43	37	19	8	9	5	1

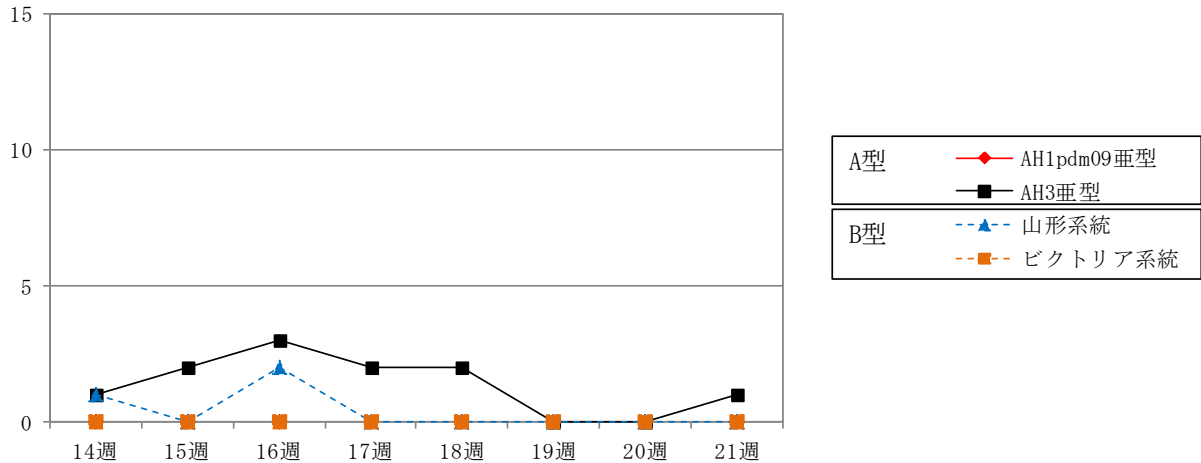
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2018								直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計
		14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週		
提出検体数		2	3	6	2	2	0	1	1	6	109
検出 状況	A型										
	AH1pdm09亜型									0	14
	AH3亜型	1	2	3	2	2			1	5	45
	B型										
	山形系統	1		2						0	35
	ビクトリア系統									0	0
合計		2	2	5	2	2	0	0	1	5	94

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第18週～2018年第21週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
18	H30.4.30 ~ H30.5.6						
19	H30.5.7 ~ H30.5.13	百日咳1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人			
20	H30.5.14 ~ H30.5.20	つつが虫病1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 水痘(入院例)1人				
21	H30.5.21 ~ H30.5.27	つつが虫病1人 百日咳1人	百日咳2人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第18週～2018年第21週）

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
18	H30.4.30 ~ H30.5.6	1		1			
19	H30.5.7 ~ H30.5.13	1	3	2			
20	H30.5.14 ~ H30.5.20		2	1		1	1
21	H30.5.21 ~ H30.5.27		1		1	1	

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第20週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	7807	2	71	366	18	9	152	296	3	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	Q熱	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	類鼻疽	レジオネラ症
累積報告数	1	19	62	46	36	1	2	15	1	428

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	305	66	603	4	316	7	77	322	455	29

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん
累積報告数	186	15	1633	154	2307	67	33	17	1556	22

分類	五類	五類
疾病名	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	162	8

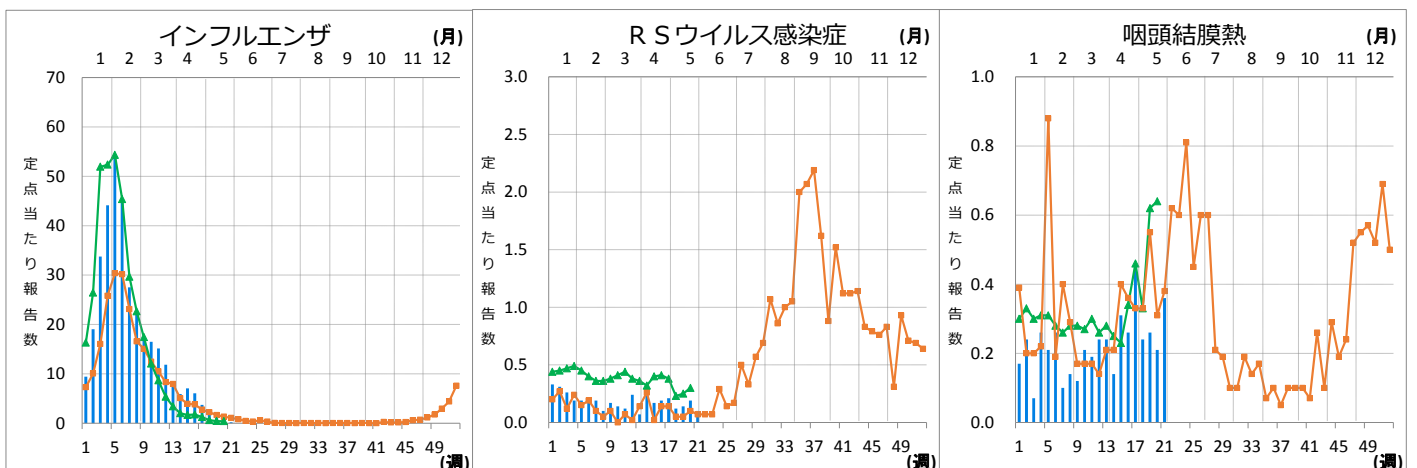
青森県（2018年第1週～2018年第21週までの累計）

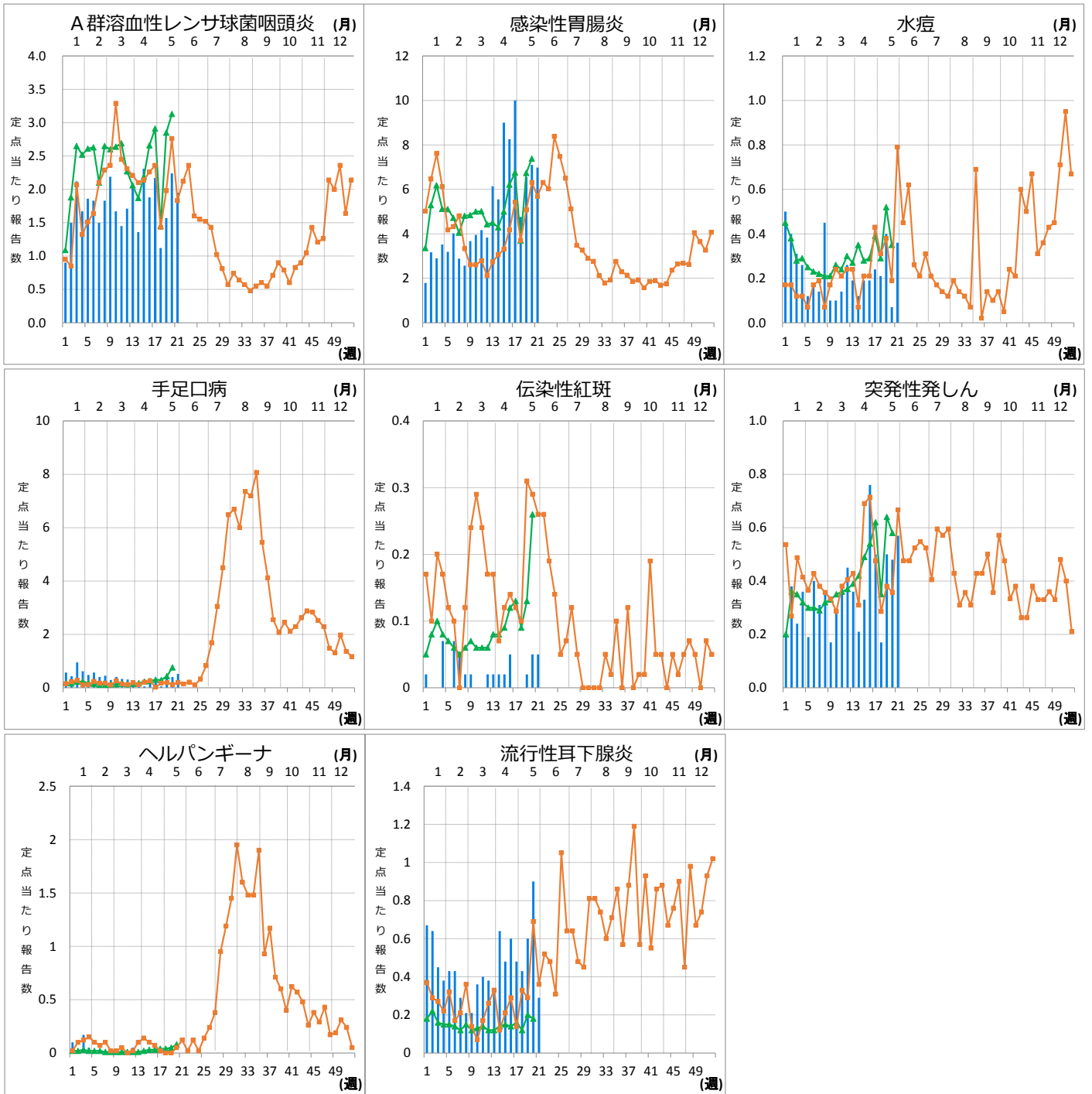
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	74	3	4	1	2	2	1	9	1	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	2	7	2	15	3	18

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第21週、ただし全国は前週）

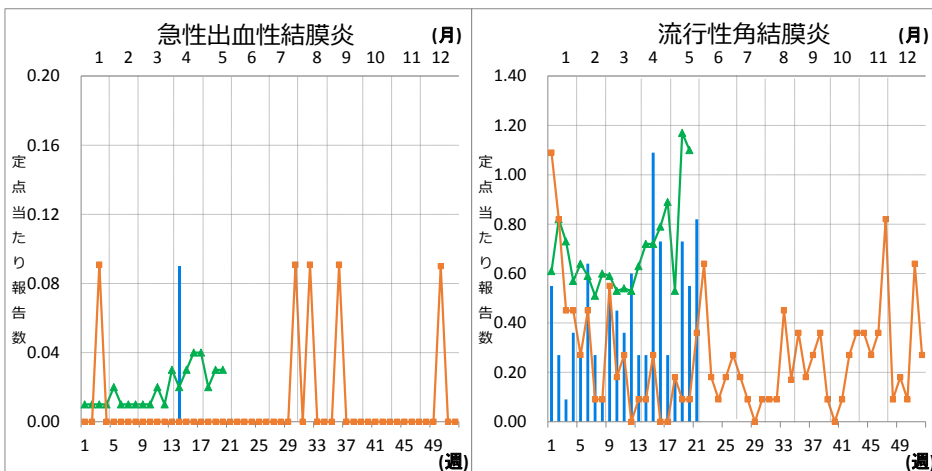
グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国





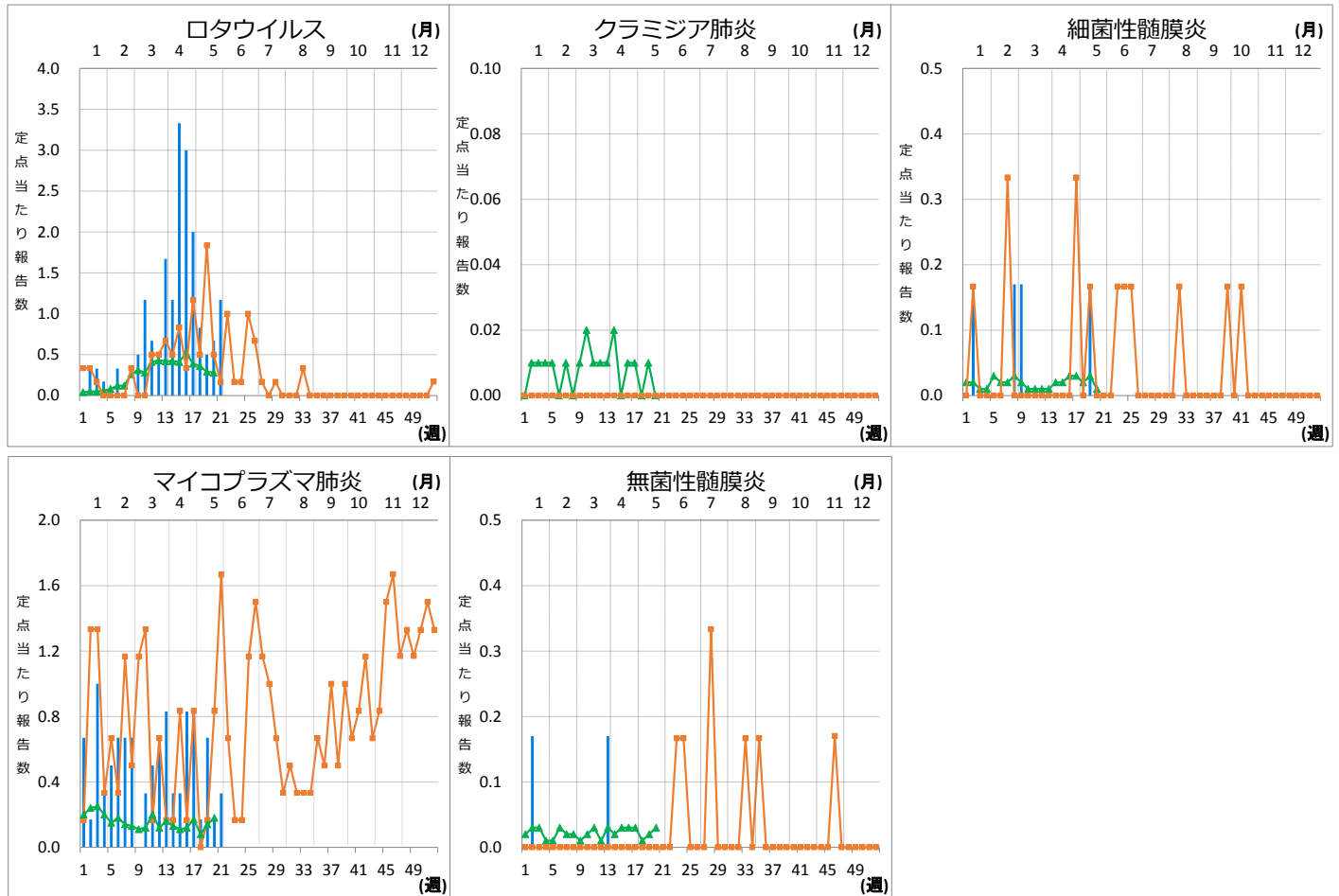
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第21週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —■— は 2018年青森県、 ■——■ は 2017年青森県、 ▲——▲ は 2018年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第21週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第21週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月								計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18週	19週	20週	21週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	0	0	2	0	6
	発症者数	0	0	0	56	0	0	21	0	77
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	0	0	2	0	12
	発症者数	56	15	36	56	0	0	21	0	184